

コミュニケーション

コミュニケーション実習

仲間づくりをすすめよう！



国立淡路青少年交流の家

コミュニケーション実習

仲間づくりをすすめよう！

■ 概要

室内で行う実習です。カードや簡単な道具を使って、グループごとに課題解決を目指していく実習です。

■ ねらい

- 与えられた課題にグループで協力して取り組む。
 - グループの中で積極的に発言する。
 - グループ内で他者の発言をしっかりと聞く。
 - 発言や話を聞く姿勢と量的なバランスをみる。
 - コミュニケーションのあり方について考させる。
- 参加者
- 指導者

■ 準備物

準備物	必要数
●筆記用具	各自
○クリップボード	各自
○水性マーカー	グループ
○模造紙	グループ
☆ホワイトボード	1
☆ボードマーカー	1セット

※内容によっては、他に必要となるものがありますので、職員にご相談ください。

- 必要なもの
- あると良いもの
- ☆ 交流の家にあるもの

■ 指導者、人数、費用など

対象	小学校5年生以上	
指導形態	交流の家職員	無料
費用	※導入～活動中～ふりかえり	
人数	6～40人	
1グループ人数	6～10人	
実施時間	2時間	
場所	研修室(室内)	
時期	1年中	

■ 服装

特に指定はありません

■ 事前

- ・指導者は、原則入所後の活動実施前の時間に、職員による30分ほどの打ち合わせを受ける。
- ・団体内でグループ分け、指導体制を決めておく。

■ 展開

	活動	職員の動き	研修生の動き	団体指導者の動き
導入 (15分)	諸注意	・諸注意を行う	・諸注意を聞く	・諸注意を行う
	ねらいと進め方の説明	・ねらいと進め方を説明する	・ねらいと進め方を理解する	・ねらいと進め方を説明する
活動中 (90分)※3種目時	グループ活動 ※1種目30分とし3種目行った場合は90分必要	・各グループに付き添いグループ観察をする ※団体指導者もグループ観察を行っていただきます	・グループごとに課題を知る。 ・各グループに分かれて活動を行う	・各グループに付き添いグループ観察をする
まとめ (15分)	ふりかえり	・研修生の発表を聞く	・ふりかえりシートを記入する ・グループ内でお互いの意見を発表する	・研修生の発表を聞く

※団体指導者のみで指導する場合は、別紙マニュアルに従って指導してください。

■ 留意点

安全上の留意点

- ・ 活動場所に応じた安全上の注意を行う。

指導上の留意点

- ・ この活動は、グループ内で個人の意見を主張すること、相手の意見に耳を傾けることが必要となる活動です。その中で、「グループでの意思決定時の方法を学ぶ」「意見の違いをどのように調整して、みんなが満足できるような決定づくりができるかを体験する」「仲間づくりをすすめる」ことを目指しています。また、これらはふりかえりの重要なポイントとなります。指導にあたる方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入といったものは避けたほうがより効果的です。

■ 雨天時の対応

- ・ 雨天でも実施可能です。